



再生のとき

コンスタンシオ・コンスルタ神父

暑く、ゆったりとした時期でもある7月に入りました。
この時期は春に種まかれた穀物が成熟し成長する時期でもあります。穀物が成長するためだけではなく、生き延びるために夏の雨に依存しているように、私たちの霊的成長は頻繁な秘蹟とキリストの御血を受けることにかかっています。

7月の長く暑い日々は私たちを内面、外面共に再生させる機会を与えてくれます。様々な予定がくつろぎを与え、プレッシャーを和らげ、旅を誘います。しかし、宣教師、聖フニペロ・セッラ（7月1日）のように旅をするかしないかにかかわらず、私たちは行い、言葉、そして身に着ける衣服さえに関しても他人に対して説き勧めてしまいます。私たちが貞淑な若い殉教者、聖マリア・ゴレッティ（7月6日）のように、私たちの行いすべてに謙虚になれるように願います。

7月はキリストの御血に捧げられる月です。キリストの御血の祭日は1849年、ピオ9世によって制定されましたが、その信仰は古くからキリスト教とともにあったものです。初期の司祭達は、教会はキリストの貫かれた体から生まれ、秘蹟はその御血をとおして生み出されたと言います。

キリストの御体を流れる御血は、今月（7月26日）が祝日とされる聖ヨアキムと聖アンナを両親とする聖母マリアの懐妊により、神性をもつ人間の一部となったのです。私たちの主の御血は私たちの救いの十字架の上に注がれ、殉教の衣を清め、その傷から流れ出るように教会は誕生しました。その神秘の御体に今なお脈動するキリストの御血はその救済の働き、私たちの復活と再生のための栄養を保ち、清め、そして与え続けているのです。

通常典礼文は私たちの地上での巡礼もまた旅であり、キリストとの一致に向けた大いなる冒険であり、私たちの「始まりと終わり」の旅であると思い起こさせてくれます。イースターの再生であるすべての日曜日は、私たちがどこから来て、どこに向かうのかという道標になります。私たちの行く手にいてくださるマリア様と天使達とともに、キリストの御血が私たちの本当の家路の旅を支えてくださいますように。

A Time Of Regeneration

Fr. Constancio Consulta, C.M.

We are now entering the month of July. It is usually hot and a time for relaxing. It is also the time when crops planted in the Spring are maturing and growing. Just as the crops are dependent upon summer rains not only to grow but to survive, so our spiritual development is dependent upon our frequenting the sacraments and receiving the Blood of Christ.

July's longer and warmer days also provide us with the opportunity for renewal, both interior and exterior. Schedules relax and pressures ease, inviting travel. But, whether we travel or not, like the missionary, St. Junipero Serra (July 1), we preach to others — by our conduct, our speech, even the clothes we wear. May we be modest in everything we do, imitating St. Maria Goretti, the young martyr for purity (July 6), and “preaching” Christ to everyone we meet.

The month of July is dedicated to the Precious Blood. The feast of the Precious Blood of our Lord was instituted in 1849 by Pius IX, but the devotion is as old as Christianity. The early Fathers say that the Church was born from the pierced side of Christ, and that the sacraments were brought forth through His Blood.

The Blood that coursed through the veins of Christ was a part of that Sacred Humanity made possible by the maternity of Mary, whose parents, St. Joachim and St. Anne are honored this month. (July 26). Our Lord's blood poured out on the Cross purchased our salvation, washed clean the robes of the martyrs, and gave birth to the Church as it flowed from his wounded side. The Precious Blood of Christ — now pulsing through his Mystical Body — continues its salvific work, preserving and purifying, repairing and providing nourishment for regeneration and renewal of its members.

The Readings of Ordinary Time remind us that our earthly pilgrimage is also a journey, a great adventure towards union with Christ, the Beginning and the End of our journey. Each Sunday with its Easter renewal becomes a mile marker along the way, linking where we have been with where we are going. May the Precious Blood of Jesus sustain us as we journey to our true home, with Mary and the angels as our companions on the way.

2019年6月度住吉小教区評議会議事録

日時・場所 2019年6月16日(日) 11:06~12:35、出席者14名
始めの祈り

星の園幼稚園からの連絡・調整事項：お泊り会 教会2階使用、源平桃再び毛虫駆除依頼

エマニュエル神父様からのメッセージ

- ・バルテレミ神父様 住吉教会司祭館居住。エマニュエル神父様は神戸中央教会司祭館へ
バルテレミ神父様 青少年担当、住吉教会を優先した司牧的配慮
- ・教会の目的：司祭を含め、共同体の兄弟姉妹を互いに愛し合うこと、尊重すること

議事

- 1 行事予定(ミサお知らせ参照)追記、変更について 7月評議会7/28(日)開催
 - 2 家庭集会(6月4日)報告
 - ・バルテレミ神父様出席、火・金ミサに普段参加されていない方も新たに10人追加出席
 - ・ミサ中は祭壇を見て集中すること。補完的にスクリーンを見る。
 - ・ミサお知らせ短縮化：1週間の動きのみ。派遣の祝福前に復活させることを検討
 - ・ミサ進行を妨げないために、ミサおしらせは箇条書き3つ以内とすること
 - 3 東ブロック合同堅信式準備会の進捗状況報告(6月23日・神戸中央教会)
6月16日(日)14:00、東ブロック合同堅信式リハーサル(同上)
 - 4 平和旬間について教区統一テーマ「平和に寄与する人になろう」(継続)
ミサ中での「平和を求める祈り」を唱える。
ミサに続いて、平和に関するDVD等の上映：8月4日(日)ミサ後
神戸中央教会：8月10日(土)19:00 平和について祈りの時間
住吉教会：8月11日(日)ミサ後、被昇天前の大掃除(熱中症注意!)
 - 5 「10月の福音宣教のための特別月間を有意義に生きるために何が必要か？」(ヨセフ・ア
ベイヤ補佐司教)
前回評議会での分かち合い(議事録参照)から、「教会の現在とこれからの道」について
 - 6 その他検討、報告事項
 - (1) 7/7 神戸地区評議会(住吉教会)用 茶菓購入承認(購入済み)
 - (2) キッチン水漏れ、修理見積り依頼。ホール天井シミは施設管理チーム長に確認依頼
 - (3) 鈴蘭台教会(H議長)からベロー神父様カード作成についての連絡(H氏→U氏)
 - (4) 教会入口樹木弱り、延命策業者依頼。五島椿植樹標柱(木製)腐食、石碑検討
 - (5) 補聴器メンテナンス：検討(6) 外国人信徒のフォロー：ミサゴで話し、よく知る
- 終わりの祈り ☆次回評議会 7月28日(日)11:00、第2会議室にて